

2019年8月

第107号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート
Tel. 018-883-1888

日韓関係の憂鬱

日韓関係が異常な状態となり、更なる関係悪化が懸念されている。

7月4日日本政府は、韓国に対する半導体製造に必要とされるフッ化水素など3品目の輸出管理厳格化が発動された。対象3品目は、半導体の洗浄に使うフッ化水素、スマートフォンのディスプレイに使われるフッ化ポリイミド、半導体の基盤に塗る感光材のレジストだ。3品目は日本が世界の7~9割の市場占有率を有しており、サムスン、LG両グループも日本から調達している。

韓国は「ホワイト国」として安全保障上の友好国で輸出手続きを簡素化する優遇措置を受けられる世界27カ国に位置づけられていた。この「ホワイト国」は韓国がアジアでは唯一認定されているものであり、中国・インドなども除外されている。また、EU諸国では韓国をホワイト国扱いにしていない。

今回の日本の対応はこれまでの優遇措置を改め8月にも輸出手続きで個別申請を求めたものである。(審査手続きに90日程度を要する)

日本はこれまで韓国の求めに応じた数量の輸出をしてきたが、輸出量と使用量との整合性が不明のため、韓国側に説明を求めてきた。しかし、全く報告がない状況が続き、3年以上も輸出管理を巡って両国の意思疎通に齟齬をきたしてきた経緯があり、さらに、「不適切な事案」がみられるとして今回の措置に踏み切ったと説明している。

これに対して、韓国側では元徴用工問題に対する「経済報復措置」だとして撤回を求めWTO(世界貿易機関)への提訴を検討していると言われている。

7月19日には河野外相は南宮駐日韓国大使を外務省に呼び会談の際、徴用工訴訟問題で韓国側が新たな提案をしようとしたところ、日本の仲裁委員会開催の提案に対して「知らないふりをして改めて提案するのは極めて無礼だ」と異例の強硬発言に及んだ。

日本にとっては、1965年日韓請求権協定で「解決済み」とされてきた「徴用工訴訟問題」で韓国大法院は昨年10月30日新日本製鉄に損害賠償を命じ、これに対して韓国政府はその解決のための適切な行動をとらなかった。また、同年12月20日韓国海軍が海上自衛隊のP-1哨戒機に対して火器管制レーダー(射撃管制レーダー)を照射した問題が発生したが誠意ある対応を見せなかった。さらに、2015年5月に日韓合意に基づき設立された慰安婦に対する「和解・癒し財団」が今年7月はじめに日本の了解を得ずに勝手に解散した。など度重なる不誠実な対応に我慢の限界に達した感がある。

韓国では米国などへロビー活動を通じ撤回を求める一方、国内で半導体素材の国産化や輸入先の多様化の方針を示したほか、日本製品の不買運動も広がり日韓関係は悪化の一途を辿り、予断を許さない状況が続いている。

風景が心に与えるもの

ニーチェの言葉

いつもの自分の生活や仕事の中で、ふと振り返ったり、遠くを眺めたときに、山々や森林の連なりやはるかなる水平線や地平線といった、確固たる安定した線を持っていることはとてもたいせつなことだ。

それらは単なる見慣れた風景にすぎないかもしれない。けれども、その風景の中にあるしっかりと安定した線が、人間の内面に落ち着きや充足、安堵や深い信頼というものを与えてくれるからだ。

誰でもそのことを本能的に知っているから、窓からの風景を重視したり、セカンドハウスの場所を自然に近いところを選んでいくのだ。

『人間的な、あまりに人間的な』



高まるために捨てる

ニーチェの言葉

人生はそれほど長いものではない。夕方に死が訪れても何の不思議もない。だから、わたしたちが何かをなすチャンスは、いつも今この瞬間にしかないのだ。

そして、その限られた時間の中で何かをなす以上、何かから離れたり、何かをきっぱりと捨てる必要はない。しかし、何を捨てるかと悩んだりする必要はない。

懸命に行動しているうちに、不必要なものは自然と自分から離れていくからだ。あたかも、黄色くなった葉が樹木から離れ去るかのようだ。

そうしてわたしたちはさらに身軽になり、目指す高みへとますます近づいていくことになるのだ。

『悦ばしき知識』



夢に責任を取る勇気を

ニーチェの言葉

過失には責任を取ろうとするのに、どうして夢に責任を取ろうとはしないのか。

それは自分の夢なのではないか。自分の夢はこれだと高く掲げたものではないのか。それほど弱いのか、勇気がないのか。

それは自分だけの夢ではないのか。最初から自分の夢に責任を取るつもりがないのなら、いつまでも夢が叶えられないではないか。

『曙 光』



最 澄 (平安時代の僧、天台宗の開祖・唐に渡り仏教を学ぶ)

767年8月18日(神護景雲元年)	滋賀県大津市坂本の豪族三津首百枝(みつのおびとももえ)を父として現在の生源寺の地で誕生。
778年(宝亀9年)	12歳で近江国分寺入り、出家して行表の弟子となる。
780年	14歳国分寺僧補欠として得度し、名を最澄と改めた。
785年	19歳東大寺で具足戒を受ける。同年7月、比叡山に登り山林修行に入り、大蔵経を読破。
797年	桓武天皇の内供奉十禅師(ないぐぶちゅうぜんし)。
801年	比叡山一乗止観院で法華十講奉修。
802年	高雄山(神護寺)法華会講師。桓武天皇より入唐求法(にっとうぐほう)の還学生(げんかくしょう、短期留学生)に選ばれる。
804年7月	唐へ渡り天台法門の写経、達磨禅を受法する。
805年	台州龍興寺で道邃(どうすい)の付法相承を受ける。越州龍興寺の順暁より三部三昧耶の灌頂(かんじょう)を受け、真言密教の「付法文」を受ける。
805年9月	桓武天皇の要請で高雄山神護寺で日本最初の公式な灌頂が最澄により行われる。
818年	みずから、具足戒を破棄。「山家学生式」(さんげがくしょうしき)を定め、天台宗の年分度者は比叡山において大乘戒を受けて菩薩僧となり、12年間山中で修行することを義務付ける。
822年6月4日(弘仁13年)	比叡山中道院で没。享年満54歳。
866年(貞観8年)	清和天王より伝教大師の諡号(しごう)を贈られた。日本で初めての大師号である。

おすすめの BOOK



『^た誰^が彼の殺人』

作者 小松 亜由美 出版社 幻冬舎

作者は秋田県大仙市生まれ。大学の法医学教室に勤務する解剖技官。本書は司法解剖を通してのミステリー小説。さまざまな推理小説の中で異色の物語と言える。

殺人事件などでは現場の死体の状況などから推理が広がっていくが、本書は死体が解剖室に入ってから、法医学教室の准教授と助手楓が警察官をさておいて事件解決の立役者として活躍する。その展開が面白い。

くらしと保険のおはなし

もしも山で遭難したら…
救助費用は？



近年はアウトドアブームなどの影響で登山が身近になっていますが、不十分な装備で気軽に山に入り、道に迷って救助を要請する人が後を絶ちません。

警察庁がまとめる「山岳遭難の概況」によると、2018年に全国で発生した山岳遭難は2661件、遭難者は3129人と、統計が残る1961年以降最多となりました。目的別に内訳を見ると、登山に次いで山菜・きのこ採りで遭難するケースが多くなっています。また、様態別では道迷いが最も多く、滑落、転倒の順となっています。

もし、山で遭難したらどこに救助を求めればいいのでしょうか。

日本では山岳遭難が起きた場合、警察から山岳警備隊、消防から山岳救助隊、民間では地元の山岳会や消防団などの救助隊が出動します。ただ、警察が指揮を執ることが多いので、110番に連絡すれば間違いないでしょう。この時、提出された登山届や衛星利用測位システム(GPS)によって避難場所の位置情報を確認できれば、スムーズな捜索活動に繋がります。

ここで気になるのが救助費用です。警察や消防によって救助された場合、税金で賄われるため費用はかかりません。救助に要した公的ヘリコプターの費用も、埼玉県の一部を除いて無料です。

一方、警察や消防では手が足りず、民間の救助隊が投入された場合は費用がかかります。人数分の日当や装備費、民間ヘリコプター代(ちなみに1分で1万円)など、総額100万円を超える費用が請求されることもあります。公的か民間かで救助費用に差がでますが、どのヘリコプターが救助に向かうかは状況次第で、遭難者が救助方法を選べるわけではありません。

そこで、万が一に備えて山岳保険に加入しておきましょう。意識したいのは、高額になる可能性がある救助費用をカバーする救済者費用等補償です。ハイキングや軽登山向けなら、単発契約は500円位、年間契約は2千円位からの保険料で用意できます。また、保険会社によっては加入中の傷害保険に特約を付けられる場合もあります。補償内容や適用範囲を確認し、自分の登山スタイルに合った山岳保険を選ぶようにしましょう。

最近ではトレッキングという言葉もよく耳にするようになりました。山頂を目指して山に登るのが「登山」、山の麓を歩くのが「トレッキング」、自然を楽しむために平坦な山野を歩くのが「ハイキング」とそれぞれ目的が異なるようです。

登山は、「つらい・大変・きつい」といったイメージがありますが、日常とかけ離れた大自然に身を置くだけで清々しい気持ちになり、山の澄んだ空気を吸えば心も体もリラックスできることでしょ



夏の鳥海湖
鳥海山の登山適期は7～10月



チョウカイフスマ



イワギキョウ

【編集後記】

参議院選挙が行われた。

年金と消費税が争点と言われていたが投票率が過去の最低と並ぶ結果となり、国民の議員に対する冷めた行動と映る。

安倍一強と言われて久しいが、別の見方をすると弱すぎる野党ということもできると思う。

なんでも反対の姿勢から政策立案能力を強化し国家天下のあるべき姿を論じて欲しい。